

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三栄コーポレーション

コード番号 8119 URL <http://www.sanveicorp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林敬幸

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 小平敏之

TEL 03-3847-3500

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	32,302	9.6	574	107.3	695	117.8	468	△3.6
26年3月期第3四半期	29,464	16.3	276	△69.6	319	△68.2	486	△17.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,109百万円 (11.4%) 26年3月期第3四半期 995百万円 (41.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	199.56	194.06
26年3月期第3四半期	207.84	201.93

当社は、平成25年10月1日付で普通株式5株につき1株の株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	
27年3月期第3四半期	22,149		9,692	43.2	4,073.77			
26年3月期	17,412		8,759	49.7	3,690.75			

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 9,573百万円 26年3月期 8,658百万円

当社は、平成25年10月1日付で普通株式5株につき1株の株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	40.00	—
27年3月期	—	40.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	50.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式5株につき1株の株式併合を行っております。平成26年3月期第2四半期末につきましては、株式併合前の配当金の額を記載しております。なお、当該株式併合後の株数を算定の基礎とした場合の平成26年3月期第2四半期末の配当金の額は50円であり年間配当金は90円となります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	0.3	830	109.0	780	60.8	500	9.1	212.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	2,552,946 株	26年3月期	2,552,946 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	203,030 株	26年3月期	206,903 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	2,348,204 株	26年3月期3Q	2,339,631 株

当社は、平成25年10月1日付で普通株式5株につき1株の株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して発行済株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安を背景とした輸出企業の採算改善や雇用環境の好転などにより、回復基調を辿ったものの、消費税増税後の個人消費の持ち直しが予想以上に鈍く景気回復の足を引っ張る展開となりました。デフレ懸念を強める欧州経済や新興国経済の悪化など、日本を取り巻く環境にも不安定要因が台頭し、景気腰折れが懸念される不透明な状況が続いています。

こうした状況下、当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、服飾雑貨事業および家電事業セグメントの売上げが二桁の伸び率となるなど、各報告セグメントで売上げが伸長した結果、売上高は前年同期比9.6%増加の323億2百万円となりました。

利益面では、円安により売上総利益率は低下しましたが、三發電器製造廠有限公司が大幅改善したほか、円安による利益率低下の影響を受けない海外売上高が伸長したことを受けて、売上総利益は同5.4%増加の79億2百万円となりました。営業利益につきましては、売上総利益の増加に加えて販管費比率が低下したことから、同107.3%増加の5億7千4百万円となり、経常利益についても、同117.8%増加の6億9千5百万円となりました。四半期純利益につきましては、特別利益要因がなかったため、同3.6%減少の4億6千8百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

(家具・家庭用品事業)

当セグメントの売上高は、前年同期比5.9%増加の165億1千5百万円となりました。OEM事業では、欧米や中国向けキッチン・クッキング用品の売上げが当第3四半期に好調に積み上がり前年同期比増加に転じたほか、国内においても、定番のリビング家具やキッチン・テーブル用品の売上げが堅調に積み上がりました。ブランド事業においては、独「WMF」「Silite」ブランド製品等を扱うヴェーエムエフジャパンコンシューマーグッズ㈱の売上げが前年同期比で増加しました。

セグメント利益については、海外OEM事業が好調に推移したことを主因に、第2四半期の赤字から1千6百万円の黒字となりました。

(服飾雑貨事業)

当セグメントの売上高は、前年同期比12.4%増加の91億6千万円となりました。OEM事業では、中国向けの売上げが伸長したほか、国内においても、キャリーケースを中心としたトラベル商材の売上げが引き続き好調に推移しました。ブランド事業においては、ドイツ製コンフォートシューズ「ビルケンシュトック」、ベルギー発祥のファッションバッグ「キプリング」両ブランドともに、順調に売上げを積み上げました。

セグメント利益については、海外OEM事業が好調に推移したことから、前年同期比18.2%増加の5億4千1百万円となりました。

(家電事業)

当セグメントの売上高は、前年同期比34.5%増加の40億6千9百万円となりました。OEM事業では、国内・海外ともに小物生活家電の売上げが大幅に伸長しました。抜本的な事業改革に目処をつけた三發電器製造廠有限公司も当セグメントの大幅売上増に寄与しました。ブランド事業においては、販売子会社㈱mhエンタープライズにおいて、前期から好調な「マイボトルブレンダー」等の調理家電が牽引する形で順調に売上げを積み上げました。

セグメント利益については、売上高の増加に加えて、三發電器製造廠有限公司の利益が大幅に改善した結果、前年同期比3億5千3百万円増加の2億2千3百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ47億3千7百万円増加の221億4千9百万円となりました。

主な資産の変動は、「現金及び預金」「受取手形及び売掛金」「商品及び製品」が、それぞれ8億4千9百万円、23億2千5百万円、8億6千5百万円増加しております。

主な負債の変動は、「支払手形及び買掛金」が2億7千3百万円、「短期借入金」が30億9千万円、それぞれ増加しております。

主な純資産の変動は、「利益剰余金」が2億6千8百万円、「その他有価証券評価差額金」が2億9千1百万円、それぞれ増加しております。

この結果、自己資本比率は43.2%、1株当たり純資産は4,073円77銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表いたしました業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,006,219	2,855,691
受取手形及び売掛金	4,952,268	7,277,679
有価証券	—	10,787
商品及び製品	4,181,395	5,046,523
仕掛品	50,427	81,048
原材料及び貯蔵品	158,229	151,668
繰延税金資産	164,333	93,270
前渡金	244,261	197,635
前払費用	117,794	97,660
短期貸付金	1,160	496
その他	559,074	994,290
貸倒引当金	△4,116	△11,241
流動資産合計	12,431,047	16,795,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,365,837	1,321,904
機械装置及び運搬具（純額）	158,177	137,084
工具、器具及び備品（純額）	148,419	134,601
土地	821,654	814,683
リース資産（純額）	39,686	33,656
建設仮勘定	19,414	34,094
有形固定資産合計	2,553,189	2,476,025
無形固定資産		
リース資産	309	—
その他	346,019	372,574
無形固定資産合計	346,328	372,574
投資その他の資産		
投資有価証券	1,547,066	1,939,965
長期貸付金	16,486	15,236
繰延税金資産	44,378	41,870
破産更生債権等	971	844
その他	524,594	559,940
貸倒引当金	△52,056	△52,457
投資その他の資産合計	2,081,441	2,505,399
固定資産合計	4,980,959	5,353,999
資産合計	17,412,006	22,149,509

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,222,367	1,495,799
短期借入金	3,338,554	6,429,300
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	—
リース債務	8,364	8,442
未払法人税等	270,324	139,961
繰延税金負債	4,078	75,254
賞与引当金	342,002	298,215
役員賞与引当金	21,417	17,927
未払金	1,053,327	1,298,813
未払費用	333,664	292,619
未払消費税等	84,234	77,788
その他	262,212	458,550
流動負債合計	7,940,549	10,592,672
固定負債		
長期借入金	200,000	1,200,000
リース債務	31,646	26,896
繰延税金負債	155,362	307,600
再評価に係る繰延税金負債	81,890	81,544
退職給付に係る負債	149,648	155,934
役員退職慰労引当金	33,745	25,183
資産除去債務	50,262	57,790
その他	9,600	9,600
固定負債合計	712,155	1,864,549
負債合計	8,652,705	12,457,222
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,914	1,000,914
資本剰余金	645,678	647,693
利益剰余金	6,938,289	7,206,989
自己株式	△271,039	△266,079
株主資本合計	8,313,842	8,589,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	368,337	659,613
繰延ヘッジ損益	58,157	336,651
土地再評価差額金	64,639	63,668
為替換算調整勘定	△146,314	△76,433
その他の包括利益累計額合計	344,819	983,500
新株予約権	90,061	104,686
少数株主持分	10,577	14,582
純資産合計	8,759,301	9,692,287
負債純資産合計	17,412,006	22,149,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	29,464,609	32,302,226
売上原価	21,964,708	24,399,481
売上総利益	7,499,900	7,902,744
販売費及び一般管理費		
販売費	1,555,976	1,685,043
一般管理費	5,666,946	5,643,573
販売費及び一般管理費合計	7,222,923	7,328,616
営業利益	276,977	574,128
営業外収益		
受取利息	2,948	6,429
受取配当金	24,052	30,653
為替差益	30,933	108,769
持分法による投資利益	25,705	—
その他	10,048	18,344
営業外収益合計	93,689	164,196
営業外費用		
支払利息	39,929	40,085
デリバティブ評価損	9,144	699
その他	2,291	2,131
営業外費用合計	51,364	42,916
経常利益	319,301	695,408
特別利益		
固定資産売却益	2,702	2,954
関係会社株式売却益	670,051	—
その他	104	12,990
特別利益合計	672,858	15,944
特別損失		
固定資産売却損	0	2,325
固定資産除却損	7,993	16,982
賃貸借契約解約損	24,728	—
減損損失	—	73
特別退職金	63,205	—
関係会社整理損	28,384	—
その他	1,895	1,367
特別損失合計	126,207	20,749
税金等調整前四半期純利益	865,952	690,604
法人税、住民税及び事業税	390,414	239,161
法人税等調整額	△2,996	△19,408
法人税等合計	387,417	219,753
少数株主損益調整前四半期純利益	478,535	470,851
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△7,724	2,236
四半期純利益	486,259	468,614

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	478,535	470,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220,266	291,276
繰延ヘッジ損益	61,626	278,494
土地再評価差額金	—	△970
為替換算調整勘定	235,142	69,881
その他の包括利益合計	517,035	638,680
四半期包括利益	995,570	1,109,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	983,135	1,107,295
少数株主に係る四半期包括利益	12,435	2,236

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,592,674	8,146,849	3,026,126	26,765,650	2,698,958	29,464,609	—	29,464,609
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,069	1,448	10,679	22,197	91,023	113,220	△113,220	—
計	15,602,743	8,148,298	3,036,805	26,787,847	2,789,982	29,577,829	△113,220	29,464,609
セグメント利益又は 損失(△)	105,513	458,113	△129,663	433,963	14,614	448,578	△171,601	276,977

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△171,601千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,515,973	9,160,009	4,069,939	29,745,922	2,556,304	32,302,226	—	32,302,226
セグメント間の内部 売上高又は振替高	23,480	15,109	8,638	47,227	78,824	126,052	△126,052	—
計	16,539,453	9,175,118	4,078,577	29,793,150	2,635,128	32,428,279	△126,052	32,302,226
セグメント利益又は 損失(△)	16,630	541,279	223,478	781,388	13,302	794,691	△220,562	574,128

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△220,562千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。